

最高裁秘書第443号

令和4年2月22日

林弘法律事務所

弁護士 山中理司様

最高裁判所事務総長 中村



司法行政文書開示通知書

令和3年12月28日付け（令和4年1月4日受付、第030836号）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 裁判官会議（第33回）議事録（片面で5枚）
- (2) 裁判官会議（第34回）議事録（片面で1枚）
- (3) 裁判官会議（第35回）議事録（片面で3枚）

2 開示しないこととした部分とその理由

- (1) 1の(1)の文書には、個人識別情報（署名、印影及び氏名）が記載されており、これらの情報は、行政機関情報公開法第5条第1号に定める不開示情報に相当することから、これらの情報が記載されている部分を開示しないこととした。
- (2) 1の(2)及び(3)の各文書には、個人識別情報（署名及び印影）が記載されており、これらの情報は、行政機関情報公開法第5条第1号に定める不開示情報に相当することから、これらの情報が記載されている部分を開示しないこととした。

3. 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室）電話 03（3264）5652（直通）

裁判官会議（第33回）議事録

令和3年11月10日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 大谷長官、菅野、山口、戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡邊、岡、堺各裁判官

大谷長官議長席に着く。

議事

1 第25回最高裁判所裁判官国民審査の結果について

大須賀広報課長から、資料第1に基づき、令和3年10月31日に行われた標記の国民審査の結果について説明があった。

2 仲裁法の改正に関する要綱案について

門田民事局長から、標記の要綱案について報告があった。

3 人事について

徳岡人事局長から、資料第2に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の退官については、報告及び原案どおり決定し、2の裁判官の検事転官等、3の裁判官の転補等、4の裁判官の新規任命等、5の令和3年度司法修習生の採用、6の司法修習生の再採用及び7の令和3年度司法修習生の修習期間の決定については、いずれも原案どおり決定した。

午前10時52分終了

議 長

秘書課長

裁判官会議資料第2
(11月10日開催)

裁判官会議付議人事関係事項(令和3.11.10提出)

1 裁判官の退官について

定年退官(令3.12.4) さいたま地家川越支判事(部総括)
・川越簡裁判事
齋藤憲次(43)
依願免本官並びに兼官(令3.12.4) 横浜地家川崎支判事(部総括)・川
崎簡裁判事
飯塚宏(38)

2 裁判官の検事転官等について

検事(法務省大臣官房司法法制部) 東京地判事補・東京簡裁判事
大久保直輝(67)

3 裁判官の転補等について

東京高判事・東京簡裁判事 最高裁刑事局第一課長・第三課長・
広報課付(東京地判事・東京簡裁判事)
福家康史(51)

最高裁刑事局第一課長・第三課長・
広報課付(東京地判事・東京簡裁判
事)
東京地判事・東京簡裁判事

司研教官(東京高判事・東京簡裁判
事) 東京高判事・東京簡裁判事
島戸純(48)

司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	丹羽芳徳(50)
司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	小川嘉基(51)
司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	鎌倉正和(53)
司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	中島崇(53)
司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	松永智史(56)
司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	渡邊達之輔(56)
司研教官（東京高判事・東京簡裁判 事）	東京高判事・東京簡裁判事	堀田佐紀(57)
さいたま地家川越支判事（部総括） ・川越簡裁判事	さいたま地家熊谷支判事・熊谷簡裁 判事	飯塚圭一(40)

横浜地家川崎支判事（部総括）・川崎簡裁判事 東京高判事・東京簡裁判事
山 口 均 (38)

最高裁民事局付（東京地判事補・東京簡裁判事） 東京地判事補・東京簡裁判事
吉 元 祥太郎 (68)

最高裁刑事局付（東京地判事補・東京簡裁判事） 東京地判事補・東京簡裁判事
大 竹 泰 章 (68)

最高裁家庭局付（東京家判事補・東京簡裁判事） 東京地判事補・東京簡裁判事
川 渕 達 也 (67)

名古屋家地岡崎支判事補・岡崎簡裁判事 東京家判事補・東京簡裁判事
種 村 仁 志 (68)

4 裁判官の新規任命等について

東京地判事補（職権特例指名）・東京簡裁判事 法務省大臣官房司法法制部付
豊 澤 悠 希 (65)

5 令和3年度司法修習生の採用について

「令和3年度司法修習生採用候補者名簿」のとおり

6 司法修習生の再採用について



7 令和3年度司法修習生の修習期間の決定について

令和3年度司法修習生について、裁判所法第67条の2第1項及び第67条の3第1項の「修習のため通常必要な期間として最高裁判所が定める期間」を、いずれも令和3年11月12日から令和4年12月7日までと定める。

裁判官会議（第34回）議事録

令和3年11月17日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 大谷長官、菅野、山口、戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、安浪、渡邊、岡、堺各裁判官

大谷長官議長席に着く。

議事

1 総務局関係事項について

小野寺総務局長から、資料第1に基づき、岡村裁判官の職務執行回避許可の申立てについて説明があり、当該事件についての岡村裁判官の回避申立てを許可することとした（岡村裁判官は議決に加わらなかった。）。

2 人事について

徳岡人事局長から、資料第2に基づき、熊本家庭裁判所長の補職等について説明があり、次のとおり決定した。

大阪高等裁判所判事村山浩昭の定年退官に伴い、熊本家庭裁判所長芦高源を大阪高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者を福岡地方、家庭裁判所久留米支部長岡田健とする。

午前11時08分終了

議 長

秘書課長

裁判官会議（第35回）議事録

令和3年11月24日（水曜日）

裁判官会議室において、午後1時30分開議

出席者 大谷長官、菅野、山口、戸倉、深山、三浦、草野、宇賀、林、岡村、長嶺、安浪、渡邊、岡、堺各裁判官

大谷長官議長席に着く。

議事

1 令和3年度裁判所所管補正予算（第1号）について

氏本経理局長から、資料第1に基づき、標記の補正予算について説明があり、原案どおり予算を要求することを決定し、標記の補正予算の内容に変更が生じた場合の処理を最高裁判所長官に一任することについて諮り、これを了承した。

2 人事について

徳岡人事局長から、資料第2に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の退官については、報告及び原案どおり決定し、2の裁判官の転補等については、原案どおり決定した。

午後1時45分終了

議 長



秘書課長



裁判官会議付議人事関係事項(令和3.11.24提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (令 3.12.17)	東京高判事・東京簡裁判事 遠藤 浩太郎 (45)
定年退官 (令 3.12.31)	広島高岡山支判事(支部長)・岡山 簡裁判事 塩田直也 (39)
依願免本官並びに兼官 (令 3.12.31)	東京地判事・東京簡裁判事 早坂あさか (62)
依願免本官並びに兼官 (令 3.12.31)	福井家地判事補・福井簡裁判事 日巻功一朗 (68)
定年退官 (令 3.12.20)	東京簡裁判事 横川保廣
定年退官 (令 3.12.24)	東京簡裁判事 丸尾弘之

2 裁判官の転補等について

福岡地家久留米支判事(支部長) 久留米簡裁判事(司掌者)	福岡地家判事(部総括)・福岡簡裁 判事 立川毅 (46)
福岡地家判事(部総括)・福岡簡裁 判事	東京高判事・東京簡裁判事 上田洋幸 (48)

広島高岡山支判事・岡山簡裁判事

東京地家立川支判事（部総括）・立
川簡裁判事

河田泰常(42)

東京地家立川支判事（部総括）・立
川簡裁判事

東京高判事・東京簡裁判事

河本晶子(44)

広島高岡山支判事（支部長）・岡山
簡裁判事

広島高岡山支判事（部総括）・岡山
簡裁判事

片山隆夫(40)

広島高岡山支判事（部総括）・岡山
簡裁判事

広島高岡山支判事・岡山簡裁判事

河田泰常(42)